

授業科目名： 野球	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 伊藤栄治・高柿 健 担当形態： クラス分け・単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・体育実技		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる (専門知) DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる (実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1) 野球(捕る、投げる、打つ、走る)の基礎技術をICTなどを用いて習得する。 (2) 野球で主体的で対話的な深い学びを習得する。 (3) 野球の動きを分解して、つまずきからの手立てを習得する。			
授業の概要			
本授業では、「捕る、投げる、打つ、走る」という行為の基本動作や応用技術を身に付けさせるとともに、何がうまくできないか、どうすればうまくいくかを、ICTやグループディスカッションを実施することによって、学生個人あるいはグループで「気づき、理解する」ことを促す。			
授業計画			
第1回：野球における「捕る、投げる、打つ、走る」とは 第2回：「捕る」基本技術(1)ゴロの捕球 第3回：「捕る」基本技術(2)フライの捕球 第4回：「捕る」基本技術(3)捕球フォーム改善点の確認 (ICTの活用、グループディスカッションの実施) 第5回：「投げる」基本技術(1)コントロール(軸の回転と重心移動) 第6回：「投げる」基本技術(2)投げるフォーム改善点の確認 (ICTの活用、グループディスカッションの実施) 第7回：「捕る」、「投げる」の応用技術(1)捕ってから投げる 第8回：「捕る」、「投げる」の応用技術(2)捕ってから投げるフォームの改善点の確認 (ICTの活用、グループディスカッションの実施) 第9回：「打つ」基本技術(1)構えからスイング(テイクバック、インパクト、フォロースルー) 第10回：「打つ」基本技術(2)高低、内・外角への対応 第11回：「打つ」基本技術(3)打つフォームの改善点の確認 (ICTの活用、グループディスカッションの実施) 第12回：「走る」基本技術(塁間の走り方) 第13回：野球のルール、ポジション、審判法の理解および実践 第14回：ゲームメイクの理解 (グループディスカッションの実施) 第15回：基本技術の評価 (実技試験) 実技試験			
スクーリングでの学修			
打つ・捕る・投げるの基本動作を修得しベースボール型の魅力を体現する。			
テキスト			
野球の教科書 野球指導書編集委員会			
参考書・参考資料等			
守備&フィールディング 成美堂 2003 伊藤栄治 978-4415023922			
学生に対する評価			
スクーリング評価 (20%)、科目修得試験 (80%)			